

中学校学習指導要領「総合的な学習の時間」及び「総合的な学習の時間における『指導プログラム』と「アイヌ民族：歴史と現在」（公益財団法人アイヌ民族文化財団）との「対応表」

本資料は、「総合的な学習の時間における『指導プログラム』と中学校学習指導要領「総合的な学習の時間」及び公益財団法人アイヌ民族文化財団が作成する副読本「アイヌ民族：歴史と現在」との関連を示しています。

学習課題の例	主な活動	指導プログラム 関連ページ	関連する教科等の学習指導要領	副読本の記載
アイヌ文化を知ろう 「伝統的な信仰について調べよう」	①学習課題を設定する。 ②郷土館やウポポイ等の博物館、資料集などで ・信仰に関する考え方 ・伝統的な儀式 について情報を収集する。 ③アイヌ文化を伝承する 方々に伝統的な信仰についてインタビューをすることを通して、情報を整理・分析する。 ④調べたことやインタビューしたことをまとめ・表現する。	第1学年 P43～45 P64～66 第2学年 P46～48 第3学年 P84～85	【特別の教科 道徳】 C 主として集団や社会との関わりに関すること [郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度] 郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。 [我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度] 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること [感動、畏敬の念] 美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。 [よりよく生きる喜び] 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	VII 近・現代の文化 P30～33 「民族復権の叫び」 P34～35 「アイヌ文化の今」

学習課題の例	主な活動	指導プログラム 関連ページ	関連する教科等の学習指導要領	副読本の記載
<p>アイヌ文化を知ろう 「伝統的な歌や踊り、 楽器について調べよ う」</p>	<p>①学習課題を設定する。 ②郷土館やウポポイ等の 博物館、資料集などで ・伝統的な歌や踊り ・伝統的な楽器 について情報を収集する。 ③アイヌ文化を伝承してい る方々から歌や踊り、楽 器の政策や演奏の方法を 習い、体験することを通 して、情報を整理・分析 する。 ④調べたことや体験したこ とをまとめ・表現する。</p>	<p>第1学年 P64～66 P75 P82 第3学年 P49～51</p>	<p>〔音楽〕第1学年 B 鑑賞 (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう 指導する。 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から (ウ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって 聴くこと。 (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性 イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。 (ア) 曲想と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関 わり (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の 特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性</p> <p>〔音楽〕第2学年及び第3学年 B 鑑賞 (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう 指導する。 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から (ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性 イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。 (ア) 曲想と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関 わり (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、 その特徴から生まれる音楽の多様性</p>	<p>Ⅶ 近・現代の文化 P34～35 「アイヌ文化の今」</p>

学習課題の例	主な活動	指導プログラム 関連ページ	関連する教科等の学習指導要領	副読本の記載
アイヌ文化を知ろう 「伝統的な物語について調べよう」	①学習課題を設定する。 ②郷土館やウポポイ等の博物館、資料集などで ・ユカラ ・知里幸恵「アイヌ神謡集」 について情報を収集する。 ③アイヌ文化を伝承している方々に伝統的な物語についてインタビューをすることを通して、情報を整理・分析する。 ④調べたことや体験したことをまとめ・表現する。	第2学年 P83	【特別の教科 道徳】 C 主として集団や社会との関わりに関すること [郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度] 郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。 [我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度] 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。	VII 近・現代の文化 P30～33 「民族復権の叫び」 P34～35 「アイヌ文化の今」

学習課題の例	主な活動	指導プログラム 関連ページ	関連する教科等の学習指導要領	副読本の記載
アイヌ文化を知ろう 「アイヌ語について調べよう」	①学習課題を設定する。 ②郷土館やウポポイ等の博物館、資料集などで ・アイヌ語に由来する地名 ・アイヌ語による会話について情報を収集する。 ③アイヌ語に由来する地名を地図帳から調べたり、アイヌ語による会話をしたりすることを通して、情報を整理・分析する。 ④調べたことや体験したことをまとめ・表現する。	第1学年 P64～66 第2学年 P46～48 第3学年 P49～51	<p>〔社会 地理的分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>C 日本の様々な地域</p> <p>(3) 日本の諸地域</p> <p>次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>① 自然環境を中核とした考察の仕方</p> <p>② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方</p> <p>③ 産業を中核とした考察の仕方</p> <p>④ 交通や通信を中核とした考察の仕方</p> <p>⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。</p> <p>(イ) ①から⑤までの考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>〔社会 公民的分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 私たちと現代社会</p> <p>(1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色</p> <p>位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解すること。</p> <p>(イ) 現代社会における文化の意義や影響について理解すること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(イ) 文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	<p>Ⅷ アイヌ語</p> <p>P36～39</p> <p>〔関連項目〕</p> <p>P40～41</p> <p>「うたってみよう」</p>

学習課題の例	主な活動	指導プログラム 関連ページ	関連する教科等の学習指導要領	副読本の記載
アイヌの人たちの歴史を知ろう	<p>①学習課題を設定する。</p> <p>②郷土館やウポポイ等の博物館、資料集などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代ころのアイヌの人たちの暮らし ・明治以降のアイヌの人たちの暮らし ・現代のアイヌの人たちの暮らし <p>について情報を収集する。</p> <p>③現在のアイヌの人たちを取り巻く状況と比較したり、関連付けたりすることを通して、情報を整理・分析する。</p> <p>④調べたことや体験したことをまとめ・表現する。</p>	<p>第1学年 P64～66</p> <p>第2学年 P83</p> <p>第3学年 P84～85</p>	<p>〔社会 歴史的分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 歴史との対話</p> <p>(2) 身近な地域の歴史</p> <p>課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>B 近世までの日本とアジア</p> <p>(2) 中世の日本</p> <p>課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 武家政治の成立とユーラシアの交流</p> <p>鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解すること。</p> <p>(イ) 武家政治の展開と東アジアの動き</p> <p>南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解すること。</p> <p>(ウ) 民衆の成長と新たな文化の形成</p> <p>農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解すること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農</p>	<p>I 原始・古代</p> <p>P 4 「北海道の旧石器時代」</p> <p>P 5 「北海道の縄文文化」</p> <p>P 6 「続縄文文化」</p> <p>P 7 「オホーツク文化」</p> <p>P 8 「擦文文化」</p> <p>P 9 「古代のエミシから中世のエゾへ」</p> <p>II 中世（13～16世紀）の政治・社会</p> <p>P10～12 「鎌倉幕府の成立とアイヌの人たち」</p> <p>P12 「モンゴル帝国の成立とアイヌの人たち」</p> <p>P13 「明のアムール川下流域への進出とアイヌの人たち」</p> <p>P14～15 「コシヤミンの戦いと戦国時代の北海道」</p>

			<p>業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(ウ)までについて中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(イ) 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(3) 近世の日本 課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 世界の動きと統一事業 ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解すること。 (イ) 江戸幕府の成立と対外関係 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解すること。 (ウ) 産業の発達と町人文化 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解すること。 (エ) 幕府の政治の展開 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(エ)までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。 (イ) 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>C 近現代の日本と世界 (1) 近代の日本と世界 課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 明治維新と近代国家の形成 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風</p>	<p>Ⅲ 近世（17～19世紀）の政治・社会 P16～17 「松前藩の成立とシャクシャインの戦い」</p> <p>P18 「場所請負制成立」</p> <p>P18～19 「クナシリ・メナシの戦い」</p> <p>P20 「幕末の蝦夷地」</p> <p>Ⅳ 近世（17～19世紀）の文化 P20 「生業」</p> <p>P20～21 「家屋」</p> <p>P21 『『オムシャ図』に見るアイヌ文化』</p> <p>V 近代の政治・社会 P22～23 「アイヌ民族の日本への統合と北海道の開拓」</p> <p>P24 「開拓の本格化と『北海道旧土人保護法』の制定」</p> <p>P24～25 「大正デモクラシーから戦時体制へ」</p>
--	--	--	--	---

			<p>潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解すること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(イ) 近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【社会 公民的分野】</p> <p>2 内容</p> <p>C 私たちと政治</p> <p>(1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則</p> <p>対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解すること。</p> <p>(イ) 民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解すること。</p> <p>(ウ) 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解すること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	<p>VI 現代の政治・社会</p> <p>P26～27 「国内の政治の動きー『アイヌ文化振興法』の制定までー」</p> <p>P28 「国内の社会の動き」</p> <p>P28～29 「国際政治とアイヌ民族」</p> <p>P29 「アイヌ民族を先住民族とすることを求める国会決議」</p> <p>【関連項目】</p> <p>P42～43 「アイヌ民族に関わる歴史年表」</p>
--	--	--	--	--